

【眼の病気のおはなし】

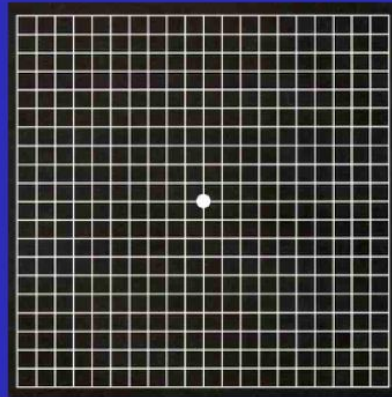
その⑦ 網膜の病気（3）「黄斑の異常」

網膜の中央にある特別に感度の良い部分を「黄斑」といいます。ヒトは黄斑で外界のできごとの9割を見ているといわれています。黄斑に異常があると、景色の中心部にゆがみや暗点を感じる変視症を生じます。黄斑の異常はアムスラー検査でみつけやすくなります。

黄斑に傷みを生じてうまく働けなくなっている様子を黄斑変性といいます。黄斑変性の原因は様々ですが、高齢人口の増加にともない「加齢黄斑変性」が増加しています。

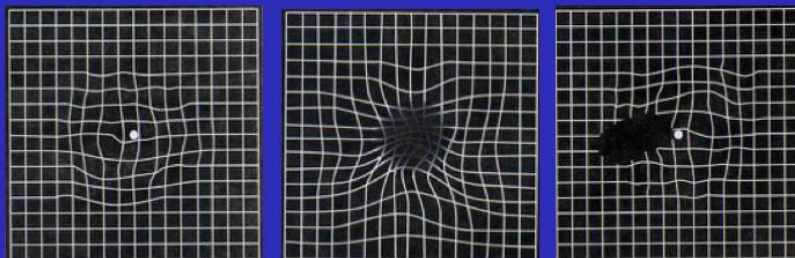
黄斑変性は眼科専門医の診察のもとで病状と進行度をみて治療を選びます。眼科を受診して精密眼底検査を行いましょう。

アムスラー検査



碁盤の目のような（方眼紙のような）図を片目ずつ見てもらい、格子のゆがみを調べます。ものがゆがんでみえる変視症を早くから検出することができます

見え方の異常の検出例



黄斑に異常があると、ゆがむ、縮む、とぎれる、など見え方に変化があらわれます